

# ノロウイルスによる染性胃腸炎に関する消毒について

【高齢者施設用】

## 1 消毒薬の作り方

### 【用意するもの】

- ・濃度が4～6%の塩素系消毒薬
  - ・2Lのペットボトル
  - ・手袋（消毒薬を扱うときに手荒れ予防に使用）
  - ・漏斗（じょうご）
- \*用時調整が基本ですが、事前に準備する場合は、冷暗所に保存し、短時間で使い切ってください。
- \***窓を開け、換気をした状態で作成**してください。



ペットボトルのキャップ1杯≒5ml  
厳密に測定する必要はありません。

### 【200ppm 消毒薬の場合】

\*ドアノブ・手すり・テーブル等清潔な表面を消毒するときに使用

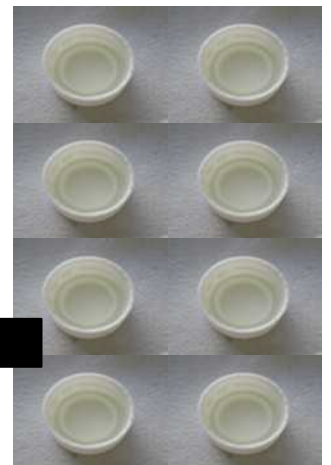
- ① 手袋を装着する
- ② 2Lペットボトルに水道水を半分程度入れる
- ③ ペットボトルの入口に漏斗を入れる
- ④ ペットボトルの**キャップ2杯分**の消毒薬を入れる
- ⑤ 水道水を追加する
- ⑥ キャップを閉めた後、上下によく振る
- ⑦ 濃度と作成日を記入し、冷暗所に保存



### 【1000ppm の場合】

\*吐物や下痢便等の処理時等有機物による汚染がある場合使用

- ① 手袋を装着する
- ② 2Lペットボトルに水道水を半分程度入れる
- ③ ペットボトルの入口に漏斗を入れる
- ④ ペットボトルの**キャップ8杯分**の消毒薬を入れる
- ⑤ 水道水を追加する
- ⑥ キャップを閉めた後、上下によく振る
- ⑦ 濃度と作成日を記入し、冷暗所に保存



## 2 吐物処理セットの具体例



\*靴カバーは、嘔吐物処理時に自分の靴の裏に吐物が付着し、汚染が拡大するのを防ぐ目的で使用します。用意できない場合は、バスブーツ等で代用が可能です。ホームセンターや、100円ショップで購入可能です。ただし、使用ごとに消毒が必要です。

消毒を始める前に・・・

- ① 嘔吐した利用者の周辺に人が来ないように注意を促す
- ② レクリエーション中等の場合、他の利用者達は処理が終了するまで、別の部屋に移動
- ③ 嘔吐した利用者を診察室等へ移動

\*嘔吐した利用者の衣類には、よく見えなくても、吐物が付着している可能性がありますので、取扱いに注意してください

- ④ 換気のために、窓を開ける（処理時に塩素ガスが発生するため）



## 3 吐物の処理準備

- 1 使い捨て手袋（2枚重ねて使用）・使い捨てエプロン・使い捨てマスクを着用  
\*袖のないエプロンの場合は、着用している衣類の汚染を防ぐために、袖をまくる
- 2 使い捨てキャップを着用  
\*キャップがない場合は、髪を縛るなど、床につかないように工夫
- 3 靴カバーを着用（バスブーツ等でも可）



手袋は2枚重ねて着用。

袖なしエプロンの場合、袖をまくる



長そでの使い捨てエプロンがあれば、長そでのエプロンの着用が望ましい。

靴カバーがない場合は、靴を脱いでバスブーツを利用。使用後は消毒する。

## 4 消毒の手順



バケツにゴミ袋を2重にセットし、ゴミ袋の中に1000ppmの消毒薬を吐物が浸る程度の量、事前に入れておく。



吐物をペーパータオル等で覆う。吐物を広げないように、外側から中心に向けて静かにふき取る。



拭き取った吐物をバケツに入れる。外側の手袋を外す。(内側の清潔な手袋を触らないように注意)



ゴミ袋の口をしっかりと縛る。



吐物があった場所を中心に**4メートル四方**を新聞紙で覆い、1000ppmの消毒薬を**浸すよう**にかけていく



消毒薬をかけ終わってから、10分程度放置する。

\* 2人以上いる場合は、吐物処理をしている間に別の職員が周囲から消毒を進めることができます。

### 【消毒後の回収作業】

消毒後なので、吐物による衣類の汚染リスクはないが、塩素により衣類の脱色等の可能性、塩素による刺激臭があるため、新しい使い捨てマスク・使い捨て手袋・使い捨てエプロンを着用する。



ゴミ袋を準備する  
新聞紙を取り外す



集めた新聞紙をゴミ袋に入れ、しっかりと口を縛る



新聞紙を取り外した後、ぞうきんで水拭きする。使用したバケツを消毒し、片づける。塩素の匂いが消えたら換気を終了。

### 注意事項

- ・スプレーボトル使用は、あまりお勧めしません。(点状に広がり、消毒できない場所がある)
- ・消毒をしている間に、処理した吐物を所定の場所に捨てます。(できる限り屋外に出してください)
- ・4mの目安として、新聞紙を横5枚、縦8枚並べた大きさが相当します。
- ・吐物処理時に利用したマスク等のPPE(個人防護具)は汚染されているリスクが高いため、外して捨てます。



## 5 マスク等の PPE（個人防護具）の外し方

PPE はあらかじめゴミ袋を用意し、外すたびにゴミ袋へ入れてください。



手袋をはずす。  
石けんと流水で手を洗う。



靴カバーを外す。  
(カバーの外側に手が触れないように注意)



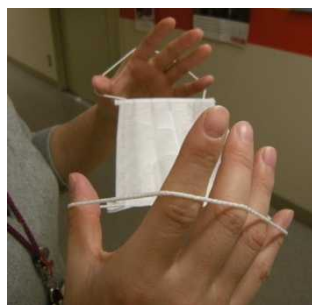
エプロンを外す。



えりひもと腰ひもを外し、エプロンの外側に手が触れないように注意。エプロンの外側を中に入れるように丸めて処分する。



キャップを外す。



紐の部分に触りマスクを外す。(マスク表面にふれないように注意)



ゴミ袋の口をしっかり縛る。



石けんと流水で手を洗う。

## 6 その他の注意事項

- ・嘔吐した利用者が触れたと考えられる場所を消毒薬（200ppm）で消毒して下さい。（別紙1参照）
- ・食事前・トイレ後の手洗いについて利用者や面会者を含め、改めて注意喚起して下さい。
- ・職員も含め健康状態の把握に努め、体調の悪い職員は、お休みできるようにし、必要時は医療機関を受診するようにして下さい。
- ・共有タオルは設置しないようにして下さい。（ペーパータオルまたは個人用タオルを使用）
- ・複数名の有症者が発生した場合
  - ・トイレや居室等の消毒について検討して下さい。
  - ・面会制限の実施について検討して下さい。